



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月3日

上場会社名 株式会社CFSコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8229 URL http://www.cfs-corp.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 雄二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上田 晃一 TEL 045 (476) 7474
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日 配当支払開始予定日 平成26年11月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年2月期第2四半期 | 61,076 | 3.2 | 1,302 | 79.1 | 1,374 | 71.9 | 623 | 173.6 |
| 26年2月期第2四半期 | 59,183 | — | 727 | — | 800 | — | 227 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年2月期第2四半期 | 17.97 | 17.95 |
| 26年2月期第2四半期 | 6.57 | 6.56 |

(注) 当社は平成25年2月期より決算日を2月20日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、26年2月期第2四半期（3月1日から8月31日）と、比較対象となる25年2月期第2四半期（2月21日から8月20日）の期間が異なるため、26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年2月期第2四半期 | 45,490 | 21,127 | 46.4 | 608.82 |
| 26年2月期 | 45,745 | 20,596 | 45.0 | 593.71 |

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 21,109百万円 26年2月期 20,581百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期 | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 |
| 27年2月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 27年2月期（予想） | — | — | — | 4.00 | 8.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 120,000 | 2.1 | 3,000 | 29.0 | 3,100 | 21.4 | 1,200 | 185.7 | 34.61 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年2月期2Q | 34,693,678株 | 26年2月期 | 34,687,678株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年2月期2Q | 21,046株 | 26年2月期 | 20,917株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年2月期2Q | 34,668,779株 | 26年2月期2Q | 34,663,801株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他に関連する事項については、添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期累計期間におけるドラッグストア業界は、消費税の増税前の駆け込み需要と増税後におけるその反動への対応に各社が注力するなかで、顧客獲得へ向けてなお一層厳しい競争が展開されました。

このような状況のなか、当社は、2015年2月期から2017年2月期を対象とする中期3ヵ年経営計画をスタートさせ、最終年度において経常利益率4%を目指すものとしたしました。その初年度として、店舗では、既存店の営業力の強化へ向け、ポイント施策・チラシ施策の強化や季節・社会行事に対応したきめ細かな売場提案に取り組みました。また、収益性の高い店舗への取組として、食品売場の拡充を柱にし効率的にゴンドラ配置を変えること等で実質増床となる活性化改装を実施し売上の底上げを図りました。一方、収益性の低い店舗は、閉店または一部リロケーションを行う事により改善を図りました。

今後の競争力ある店舗フォーマットを開発するために、250坪標準型店舗の実験店を4月に実施、増床店舗にて水平展開を図っています。また、500坪大型店舗の実験店を7月にオープンし下期の増床店舗に展開すべく検証を進めています。

第2四半期累計期間における売上高に関しては、消費増税前の駆け込み需要への対応が奏功、またその反動への影響を最小限に抑えることにより、既存店の前期比は3.9%増と大幅な伸びとなりました。また調剤部門の売上高は前期比7.4%増と引き続き順調に推移しました。この結果、売上総利益は、売上高3.2%増加と売上総利益率0.4%改善等により4.4%増となりました。一方、販売費及び一般管理費は、積極的に販売攻勢を進めたことにより販促関連費用が増加しましたが、働き方改革による労働生産性の向上により人件費のコントロールを図り、1.1%の増加にとどめました。

店舗については、「新沢田店」(静岡県沼津市)や「宿河原店」(川崎市多摩区)等を出店するとともに、「東田中店」(静岡県御殿場市)をはじめとする大型改装に取り組みました。これらにより、当第2四半期末の店舗数は、新規出店9店(閉店9店)を加え、神奈川県160店、静岡県88店、東京都他60店、合計308店となり、うち調剤取扱店舗は前期末より3店増えて109店となりました。

これらの結果、第2四半期累計期間の売上高は610億76百万円(前期比3.2%増)となり、営業利益は13億2百万円(前期比79.1%増)、経常利益は13億74百万円(同71.9%増)、また四半期純利益は、6億23百万円(同173.6%増)とそれぞれ大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して2億54百万円減少し、454億90百万円となりました。これは、有形固定資産が3億19百万円増加したものの、「商品」が7億81百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ7億85百万円減少し、243億63百万円となりました。これは、「買掛金」が5億41百万円増加しているものの、「短期借入金」が16億円、「長期借入金(含む1年内返済予定)」が3億16百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して5億30百万円増加し、211億27百万円となりました。これは、「利益剰余金」が4億84百万円、「その他有価証券評価差額金」が40百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前事業年度末から1.4ポイント上昇し46.4%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比較して1億62百万円増加し、当第2四半期会計期間末では23億96百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、30億78百万円(前年同四半期は17億80百万円の増加)となりました。これは、税引前四半期純利益に加え、たな卸資産の減少及び仕入債務の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、8億40百万円(前年同四半期は17億28百万円の減少)となりました。これは、新規出店・改装等による有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、20億74百万円(前年同四半期は4億78百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の減少、長期借入金の返済及び配当金の支払いによる支出等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2014年9月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成26年2月28日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日) |
|-----------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,233 | 2,396 |
| 売掛金 | 2,602 | 2,748 |
| 商品 | 13,350 | 12,569 |
| 貯蔵品 | 68 | 82 |
| その他 | 6,148 | 6,128 |
| 貸倒引当金 | △0 | △1 |
| 流動資産合計 | 24,403 | 23,923 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 13,704 | 14,143 |
| 減価償却累計額 | △8,662 | △8,941 |
| 建物(純額) | 5,041 | 5,201 |
| 土地 | 2,353 | 2,353 |
| その他 | 7,781 | 8,148 |
| 減価償却累計額 | △5,065 | △5,272 |
| その他(純額) | 2,716 | 2,875 |
| 有形固定資産合計 | 10,111 | 10,430 |
| 無形固定資産 | 672 | 668 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 8,495 | 8,387 |
| その他 | 2,101 | 2,120 |
| 貸倒引当金 | △39 | △39 |
| 投資その他の資産合計 | 10,557 | 10,467 |
| 固定資産合計 | 21,342 | 21,566 |
| 資産合計 | 45,745 | 45,490 |

(単位:百万円)

| | 前事業年度 (平成26年2月28日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 11,609 | 12,151 |
| 短期借入金 | 1,600 | - |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,532 | 1,632 |
| 未払法人税等 | 577 | 480 |
| 賞与引当金 | 477 | 501 |
| ポイント引当金 | 1,354 | 1,416 |
| その他 | 3,176 | 3,994 |
| 流動負債合計 | 20,327 | 20,177 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,136 | 1,720 |
| 資産除去債務 | 1,001 | 1,020 |
| その他 | 1,684 | 1,445 |
| 固定負債合計 | 4,821 | 4,186 |
| 負債合計 | 25,149 | 24,363 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,093 | 7,094 |
| 資本剰余金 | 6,378 | 6,379 |
| 利益剰余金 | 7,035 | 7,520 |
| 自己株式 | △13 | △13 |
| 株主資本合計 | 20,493 | 20,979 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 88 | 129 |
| 評価・換算差額等合計 | 88 | 129 |
| 新株予約権 | 14 | 17 |
| 純資産合計 | 20,596 | 21,127 |
| 負債純資産合計 | 45,745 | 45,490 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 59,183 | 61,076 |
| 売上原価 | 42,009 | 43,145 |
| 売上総利益 | 17,173 | 17,930 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,446 | 16,627 |
| 営業利益 | 727 | 1,302 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 17 | 15 |
| 受取配当金 | 4 | 4 |
| 固定資産受贈益 | 54 | 54 |
| その他 | 41 | 20 |
| 営業外収益合計 | 117 | 95 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28 | 21 |
| 店舗閉鎖損失 | 12 | - |
| その他 | 4 | 1 |
| 営業外費用合計 | 44 | 22 |
| 経常利益 | 800 | 1,374 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 194 | 218 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 78 | 57 |
| その他 | 6 | 46 |
| 特別損失合計 | 279 | 322 |
| 税引前四半期純利益 | 520 | 1,052 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 286 | 411 |
| 法人税等調整額 | 6 | 17 |
| 法人税等合計 | 293 | 429 |
| 四半期純利益 | 227 | 623 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 520 | 1,052 |
| 減価償却費 | 748 | 749 |
| 減損損失 | 194 | 218 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 85 | 24 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | △30 | 61 |
| 受取利息及び受取配当金 | △21 | △19 |
| 支払利息 | 28 | 21 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △123 | △146 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 898 | 767 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △589 | 541 |
| その他 | 400 | 323 |
| 小計 | 2,110 | 3,594 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7 | 7 |
| 利息の支払額 | △23 | △17 |
| 法人税等の支払額 | △313 | △505 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,780 | 3,078 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,627 | △765 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △67 | △94 |
| 差入保証金の差入による支出 | △241 | △216 |
| 差入保証金の回収による収入 | 266 | 266 |
| その他 | △58 | △30 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,728 | △840 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | △1,600 |
| 長期借入金の返済による支出 | △316 | △316 |
| 配当金の支払額 | △138 | △138 |
| その他 | △23 | △20 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △478 | △2,074 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △425 | 162 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,388 | 2,233 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,962 | 2,396 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。